

東福寺コース

札所名・番号 八十八ヶ所 1, 21, 29, 32, 44, 51, 67, 88, 89番、二十一ヶ所 1番 東福寺

住所 流山市鱒ヶ崎1303

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 1番 阿波 霊山寺、21番 阿波 太龍寺、29番 土佐 国分寺、32番 土佐 禪師峰寺、44番 伊予 大寶寺、51番 伊予 石手寺、67番 讃岐 小松尾寺、88番 讃岐 大窪寺、89番 番外

守龍山東福寺、弘法大師開基の伝。仁王門・阿吽像。境内に大銀杏、鐘楼、中門、大師堂、密厳堂、本堂・千仏堂。御朱印寺30石。かつてこの地一帯に真言宗130余の末寺を有した。鱒ヶ崎伝説、秀郷伝説・目かくしの鴨の民話。かつては奥の院に千仏堂があった。「江戸川八十八ヶ所総本地」一番札所。大師堂内に9つの大師像(次頁写真)。大師堂には各札所より戻された「21番(五本松)、32番(犬塚)、29番(桜大門穴大師)、44番(雷神社(六社大神))、51番(小島大師)、67番(加村河岸)、88番(奥院千仏堂)、89番(弁天山)」が同居。階段下入り口に江戸川二十一ヶ所1番の標柱。境内の仁王門右手に准四国八十八ヶ所(文政11)の石塔がある。

八十八ヶ所1, 21, 29, 32, 44, 51, 67, 88, 89番



大師堂



密厳堂

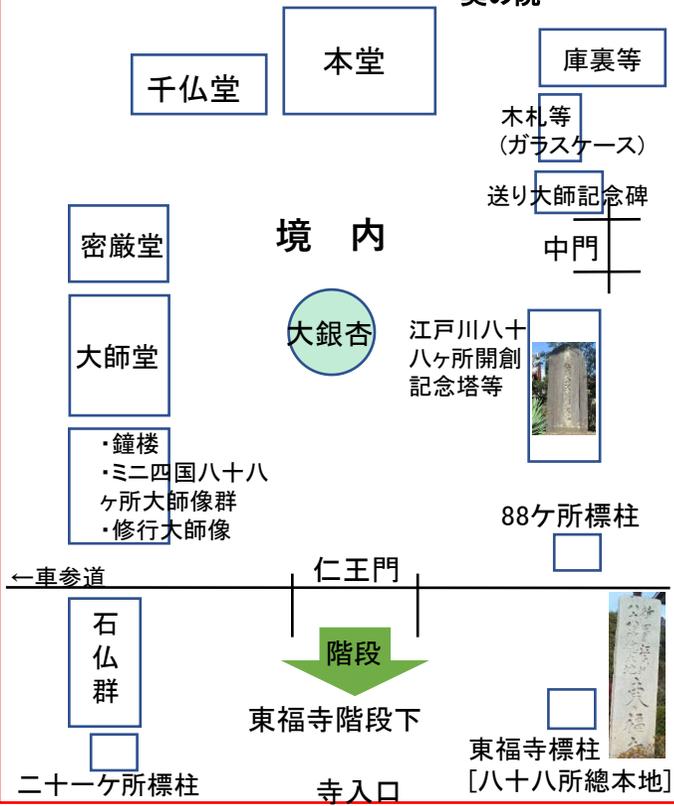


標柱



新四国八十八ヶ所鱒ヶ崎霊場巡礼塔群
昭和8年、東福寺の山裾周辺に建立されたが、昭和39年、現千仏堂前に移され、平成19年に千仏堂建設に伴い現在地へ

概略図(詳細図は次頁)



八十八ヶ所開創記念碑 (境内右手)

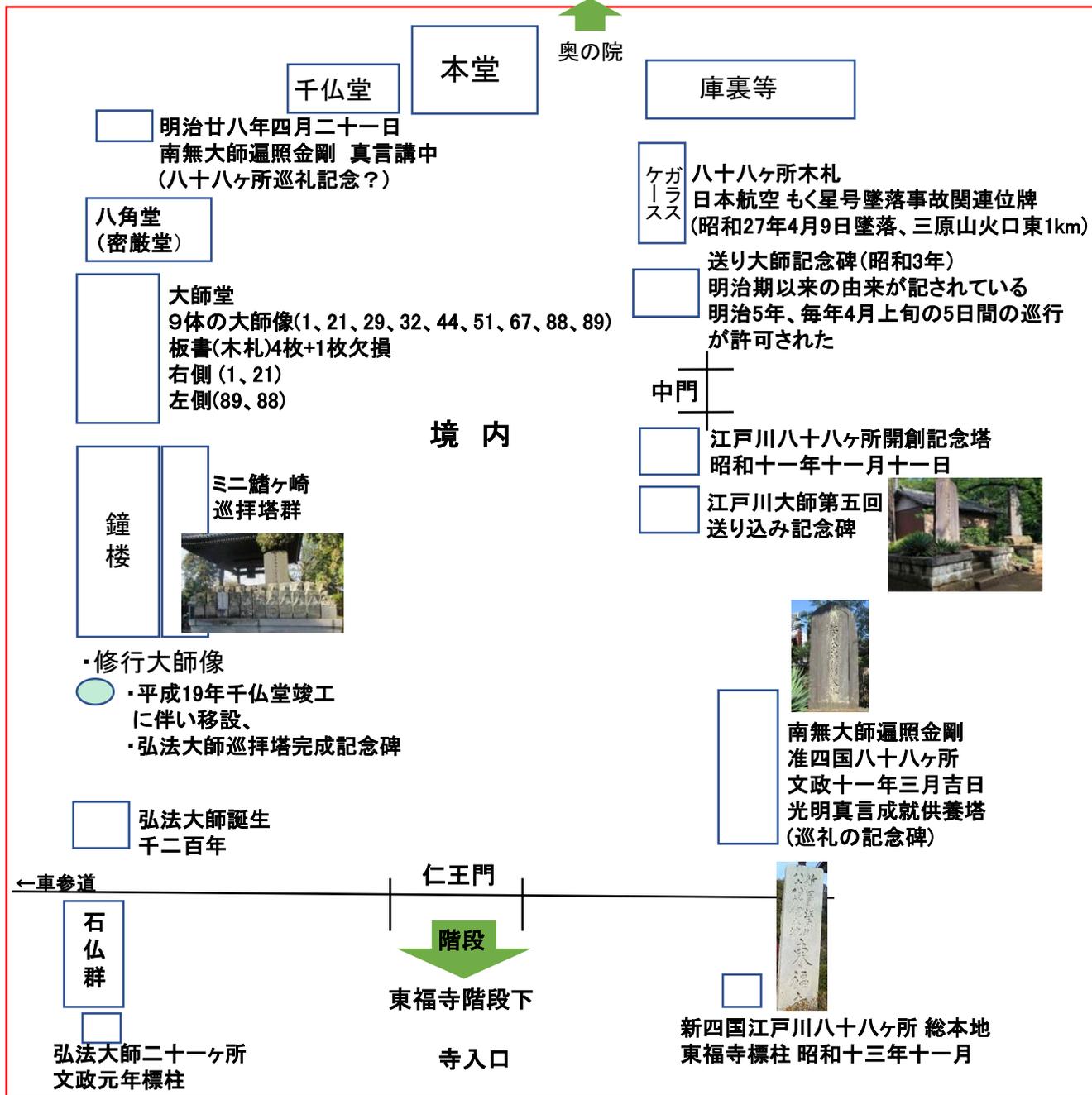


准四国八十八ヶ所の石塔、右面「文政十一子歳三月吉日」

案内図



境内
詳細図



東福寺

山号：守龍山、院号：証明院、寺号：東福寺

宗派：真言宗豊山派 護国寺末

住所：流山市鱒ヶ崎1033

本尊：薬師如来、不動明王

創建：弘仁5年(814年)

御朱印寺：30石、大イチョウ：樹齢600年



千仏堂内



中門鴨居の鴨の彫刻



大師堂内(7つの大師像)

流山市指定有形文化財

- ・千仏堂 阿弥陀如来立像附千体阿弥陀如来立像及び結縁交名木札
- ・二十一仏板碑
- ・金剛力士立像
- ・紙本淡彩大日如来像
- ・絹本著色道興大師像
- ・「俵藤太百足退治の図」絵馬

・鱒ヶ崎伝説 (東福寺縁起)

昔、弘法大師が東方の高台には五色に輝く美しい池があり、竜王が住む所とされていた。大師が山上に立つと、竜王が老翁の姿になって現れ、「この山は東方の福田であり、薬師如来が常住すべき土地であるから、瑠璃光仏を彫って寺を建てて欲しい。」と懇願。大師はさっそく仏像を造ろうとしたが、材料となる御衣木がなく困っていると竜が現れ、霊仏を大師に捧げた。大師はこれを補修し薬師如来を刻み本尊にした。その時、背鱒の先を少しばか残していったので、この地を「鱒ヶ崎」と呼ぶようになった。

・秀郷伝説 (東福寺縁起)

天慶の乱に際して藤原秀郷が当寺で祈願、平将門を征伐できたことから、朝廷より金石を受領した。本堂の天井に「俵藤太百足退治」の大絵馬がある。

・目隠し(目つぶし)の鴨伝説

収穫前の田畑が荒らされるを村人たちが捜すと、悪さは、鴨たちだった。追いかけていくと、東福寺の山門の中に吸い込まれるように飛び込んで行った。鴨の泥のついた足跡を辿ると、中門の鴨居にある鴨の彫刻だった。悪さをしないようにと彫刻の鴨の目に目隠しをした(釘が打たれた)との話もある。以降田畑が荒らされることはなくなった。

(東福寺の中門は日光東照宮造営の材料が一部寄贈され、鴨の彫刻は左甚五郎作と言われている)。

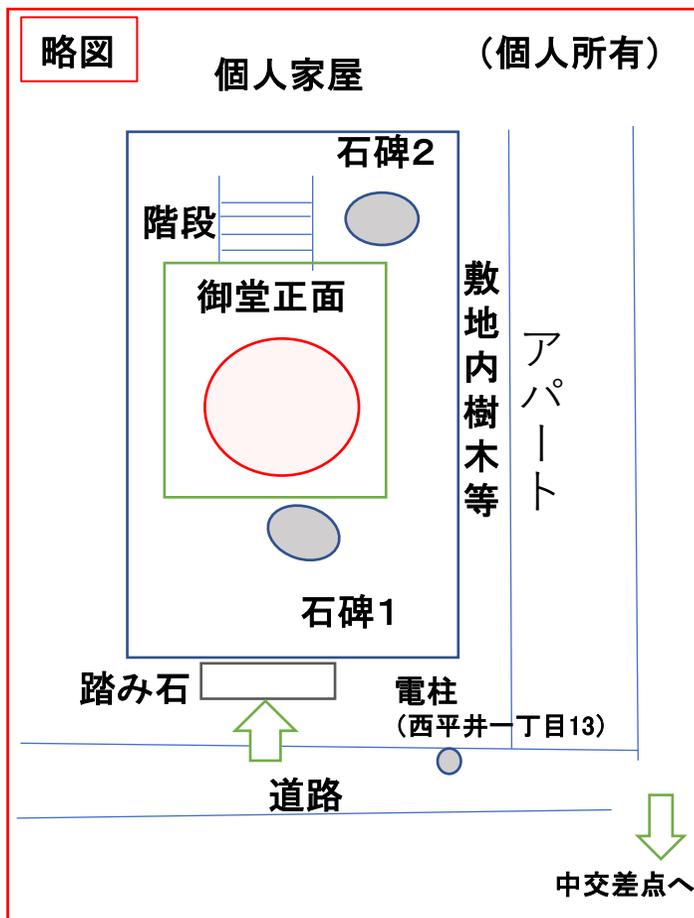
札所名・番号 八十八ヶ所 62番 焼原大師堂

住所 流山市西平井1丁目13

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 62番 伊予 宝寿寺

大師堂は、個人(岡本家)所有。道路側から回ってお詣り可。大師堂は密教法具の金剛鈴の形。密教修法のとき、諸尊を驚覚し歓喜させるためにならす鈴。その柄が五鈷・三鈷・独鈷・宝珠・塔の形をした五種がある。

大壇の中央、およびその四方に置く。焼原は岡本家の屋号。標石により62番と分かる。



札所名・番号 八十八ヶ所12番、52番 真城院

調査日 2023.1.12

調査者 塩崎、岡本、秋山、佐藤(茂)

八十八ヶ所文政期の15番

二十一ヶ所19番

住所 流山市平和台4丁目1770-1

歴史・伝承

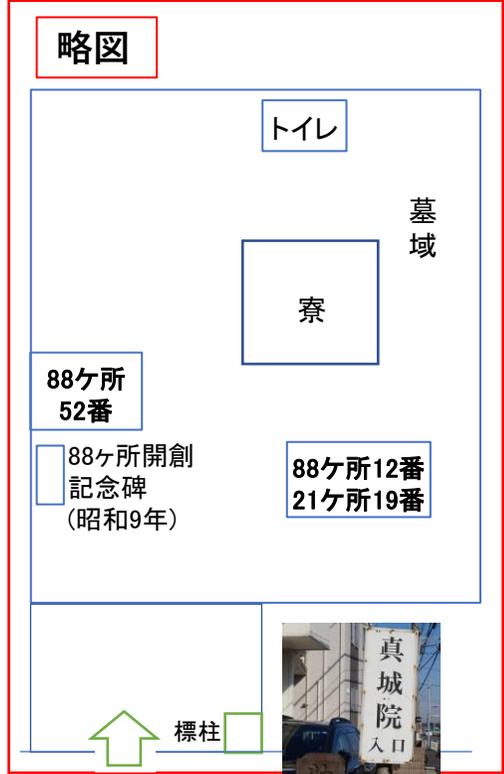
・真城院は光明院を檀那寺とする西平井地区の“りょう(寮、僧修行時の宿舎)”。入口に文政期の八十八ヶ所15番標識塔がある(文政六年)。入口から少し入って右手に12番大師堂(阿波 焼山寺)、左手に52番大師堂(伊予 太山寺)と江戸川八十八ヶ所開創記念碑(昭和9年)がある。52番は富士見公園(かつて大原神社の西側にあった)から移された。大師像の前にある小さな石碑に富士見公園と彫られている



12番



52番



札所名・番号 八十八ヶ所 72番、二十一ヶ所 21番 旧長福寺

調査日 2023.3. 6

住所 流山市 中68

調査者 塩崎、岡本、秋山、佐藤

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 72番 讃岐 曼荼羅寺

- 旧弘誓山長福寺、愛染堂：東福寺末真言宗、創建 延徳年間(1489～1491年。宝篋院塔から)、本尊 不動明王、江戸時代末無住、寺勢は幕末から明治初めの混乱期に衰退、大正時代初期に廃寺。以降、旧長福寺の管轄は光明院、愛染堂を含む墓地の管理や堂宇を失った仏像・仏具の補完は旧檀家の役割。駅周辺区画整理でマミーマート店附近から現地に移転(H23年)。愛染堂は立替、愛染明王像(南北朝～鎌倉時代?、市指定文化財)は修復し、煩悩を断ち功德を与え清らかに導く仏として信仰。敷地内に飯田藤村子(中の出身。昭和期俳人)の句碑。旧長福寺の本尊不動明王ほか仏像は敷地の中自治会館内に保管(博物館談)。菩薩形坐像は光明院にある。
- 標石には、21ヶ所21番 長福寺 文政元年五月 23世俊能 施主 古間木村 吉野兵衛門とある。昭和11年の巡拝図には72番と番外の表示。大師像は愛染堂内に一体あるのみ。
- 72番札所(讃岐 曼荼羅寺)、昭和11年の再編時のもの。大師像は愛染堂内。二十一ヶ所の21番が使われたか? 21番札所(阿波 太龍寺)、明治26年1月20日。…『流山の石仏』より

72番

愛染明王

大師像



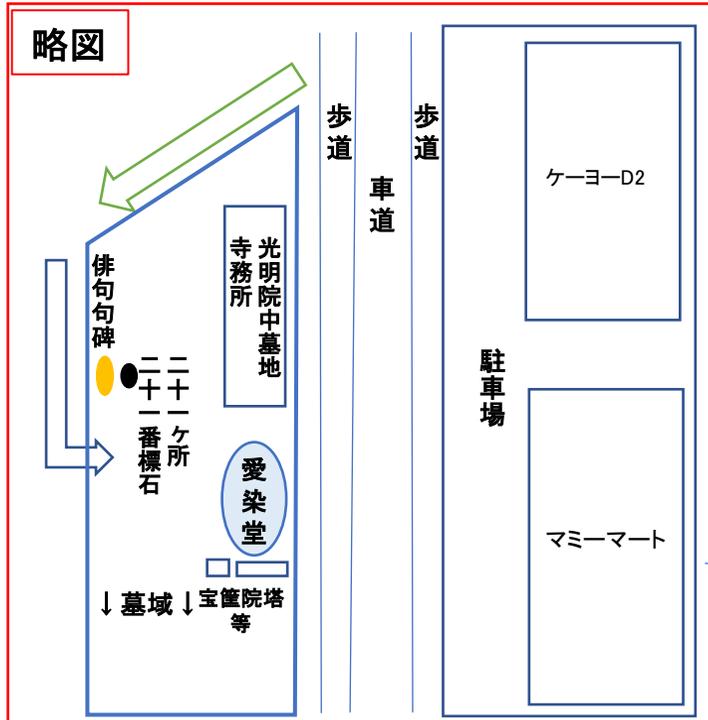




室町時代の作
三眼一面六臂
蓮華座 彩色 弓矢
奉納祈願木剣 289本

愛染堂





札所名・番号 八十八ヶ所 23番 桜山観音堂

調査日 2022.11.15 調査者 塩崎、佐藤

二十一ヶ所 20番

再調査日 2023.3.6 調査者 塩崎、岡本、秋山、佐藤

住所 流山市思井370

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 23番 阿波 薬王寺 20番 阿波 鶴林寺

- ・桜山観音堂は、思井熊野神社の別当寺だった旧薬師院(明治4年廃止)の観音堂があった所と考えられる。現在、2つの大師堂がある。「流山の石仏」には階段上の21ヶ所札所標柱に「・・・薬師院第廿三番・・・」と刻まれているとの記述あり。前回同様に今回実査でもこれを確認出来ず、標柱の土中部分に埋没している可能性がある。
- ・敷地内に、集会場(寮)と村持ちの共同墓地(中山家、恩田家、伊原家等の墓石)、地蔵や六地蔵等がある。「流山の仏像」の写真入り旧薬師院は明治4年廃寺、本尊は東福寺に移ったとされるが、『流山の仏像』には東福寺に薬師如来はない。同書には、桜山観音堂(寮)内に菩薩形立像(観音と見える)と如来形立像(薬師如来に見える)がある。大師像の移動から見ると本尊も桜山観音堂に移ったと思われる。

八十八ヶ所23番 二十一ヶ所20番



階段上 思井観音堂敷地

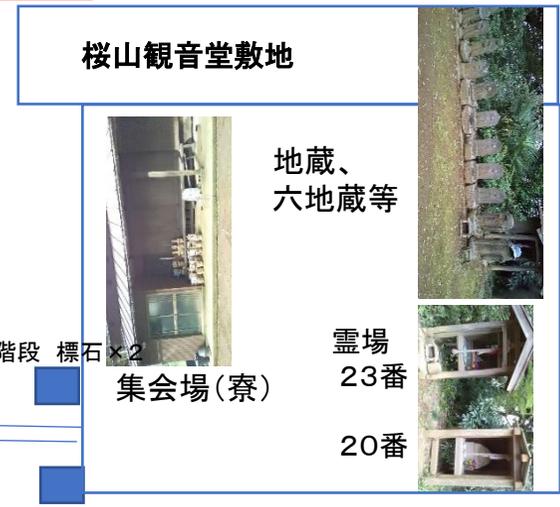


階段左上 21ヶ所20番標柱 階段右上 88ヶ所23番



左の堂内大師像 右の堂内大師像

略図



案内図



参考 札所名・番号 八十八ヶ所 32番 耳だれ地蔵 (大師堂 & 大師像なし)

調査日 2023.10.16.

調査者 塩崎、佐藤

住所 流山市 思井 514

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 23番 土佐 禅師峰寺

・耳だれ地蔵、犬塚：思井熊野神社近く、TX線路側の井原家屋敷跡。蔵等は取り壊し済み(公園化計画。耳だれ地蔵、椎の木、根元の犬塚碑と刻まれた石碑は残る見込み)。犬塚h小金城主高城下野守と忠犬小金丸の民話。耳だれ地蔵は耳炎等を治す延命地蔵。元は思井熊野神社の別当寺の薬師院にあったが、明治4年の廃寺に伴いこの地に移設。元禄3年(1690)建立の地蔵。TX線路の陸橋南側の熊野神社に「八木発祥伝説」の椎の木。古文書等に八木の地名「矢木」郷の名、矢木式部太夫胤家。熊野神社隣接の「思井堀ノ内遺跡」は、矢木一族の居館跡か。記録では一角に室町時代の矢木薬師堂が存在し、江戸時代にはこの地に薬師院があった模様。昭和初期の巡拝図には「32番犬塚」とあるが、現在は大師像、木札、御詠歌板は東福寺に移転。



椎の大木



犬塚碑

耳垂れ地蔵



案内図

旧伊原家の蔵等は昨年夏取り壊され、現地は公園化の計画がある。



歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 61伊予 香園寺

鈴木家の所有で19代目が管理。鈴木造園内の倉庫に安置されている。大師堂は区画整理の際に取り壊された。新しい大師堂は、約40万円で作成済み。

新たに製作した大師堂を園外付近に置くよう関係者と交渉中（年内設置予定）。予定場所は、隣接地Serenaマンシヨンの駐車場端の様様。

61番



現仮置き場所：鈴木造園敷地内小屋の中に大師像のみ設置



2年半前迄あったかつての大師堂（区画整理により撤去。現在なし：佐藤写真）

略図



案内図



Google(Mapion)道路最新更新図無い為